

平成 30 年度 基礎研修 I ・ II ・ III 開催要項

1. 目的

基礎研修は、公益社団法人日本社会福祉士会の生涯研修制度の基礎課程として、2012 年度より、基礎研修 I、基礎研修 II、基礎研修 III の順に決められたカリキュラムを、各研修 1 年度間、合計 3 年度で受講し、全てのカリキュラムを修了する総合的な研修体系となりました。

社会福祉士資格取得後の最初の入門研修であり、『社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身に付ける』ことを目的としています。

基礎研修は、認定社会福祉士の研修認証を受けている研修のため、すべてのカリキュラムを修了すると、認定社会福祉士の認定申請に必要な共通専門科目 10 単位（8 科目）をも満たすことになります。

新たに入会された方、または、これまでに基礎研修課程を修了されていない方等は、ぜひお申し込みください。

2. 受講対象者

- ★基礎研修 I： 社会福祉士の方
- ★基礎研修 II： 社会福祉士で、基礎研修 I 修了者
- ★基礎研修 III： 社会福祉士で、基礎研修 II 修了者

3. 修了期間

■『認定社会福祉士認証・認定機構に認証された基礎研修』

認定社会福祉士取得を目指して、認定社会福祉士制度の単位を取得する場合には、基礎研修の受講を開始した年度を基準年度とし、基礎研修 I～III を 6 年間で修了することが必要です。

前年度期間内ですべての科目を修了できず、今年度研修の延長を希望する場合は、別紙の『期間延長願』で手続きを行う必要があります。

■『生涯研修制度の基礎研修』

自己研鑽をつむことを目的に、受講する方は、上記の様な修了期間の期限に制限は設けていません。この場合は、生涯研修の基礎研修としての受講となるため、修了することでの単位は、生涯研修制度の単位としてのみ扱われます。そのため、認定社会福祉士制度の単位を取得する場合には、上記のとおり、基礎研修 I～III を 6 年間で修了することが必要です。

4. 研修概要・開催日時・開催場所・修了基準 基礎研修 I ・ II ・ III 別紙のとおり

5. 参加定員 基礎研修 I ・ II ・ III 各 60 名

※定員を超過する場合は、先着の正会員を優先させていただきます。

※申込者数が少ない場合、開催しないことがあります。

6. 受講費

受講費入金後のキャンセルは返金いたしません。定員調整による受講不可や開催しない場合は、全額返金いたします。

★基礎研修 I

■新受講者の方

会 員：15,000 円 非会員：30,000 円

※受講費に、必須教材『基礎研修テキスト（基礎研修 I～III 及びスーパービジョン）』が含まれています。

※一般社団法人山口県社会福祉士会へ入会手続き中の場合は、会員扱いとなります。

■昨年度までに受講費納入済の方

新受講者の受講費と支払済金額との差額分と 1,000 円（資料代等）

★基礎研修Ⅱ

■新受講者の方

会 員：35,000 円 非会員：70,000 円

■昨年度までに受講費納入済の方

新受講者の受講費と支払済金額との差額分と 1,000 円（資料代等）

★基礎研修Ⅲ

■新受講者の方

会 員：50,000 円 非会員：100,000 円

■昨年度までに受講費納入済の方

1,000 円（資料代等）

7. 申 込 締 切

★基礎研修Ⅰ：平成30年8月3日（金）必着

（※事前課題がありますので早めにお申込み下さい。）

★基礎研修Ⅱ：平成30年4月13日（金）必着

★基礎研修Ⅲ：平成30年4月13日（金）必着

8. 申 込 方 法

- ① 別紙の受講申込書に必要事項をご記入の上、郵送または FAX にて事務局までお申込みください。
- ② 受講費を所定の口座までお振込みください。
- ③ ①②が確認できた段階で、受講申込受理と致します。

9. 受 講 決 定 の 通 知 等

受講可否は、申込締切日以降に決定し通知します。受講決定者へはあわせて受講証・研修資料集をお送りします。

10. お申込み先・お問い合わせ先

〒753-0072 山口県山口市大手町9番6号 山口県社会福祉会館内

一般社団法人山口県社会福祉士会事務局 担当：吉村

TEL 083-928-6644 FAX 083-922-9915

11. お振込先口座 ※振込手数料は、自己負担となります

金融機関名	ゆうちょ銀行
預金種目	当座
口座番号	01300-0-62721
加入者名	一般社団法人山口県社会福祉士会
カナ氏名	シャ) ヤマグチケンシャカイフクシシカイ

ゆうちょ銀行以外の金融機関から振り込む場合

店名 (店番)	一三九 (イチサンキユウ) 店 (139)
預金種目	当座
口座番号	0062721
口座名義	一般社団法人山口県社会福祉士会
カナ氏名	シャ) ヤマグチケンシャカイフクシシカイ

12. 主催 一般社団法人山口県社会福祉士会

平成30年度基礎研修Ⅰ 研修概要・開催日時・開催場所・修了基準

1. 期日 平成30年6月1日～平成31年3月31日

◆集合研修1：平成30年9月1日(土) ◆集合研修2：平成31年3月9日(土)

2. 会場 山口県身体障害者福祉センター ※開催場所が変更になる場合があります。

3. プログラム

科目	研修番号	内 容
生涯研修制度独自科目	事前課題1	①社会福祉士の役割を考える。 『生涯研修手帳』を読んでください。社会福祉士としての専門性について考えをまとめ、あなたは生涯研修制度を通じてどのように研鑽を進めるかを1,200字以上にまとめてください。
ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	事前課題1	②社会福祉士としての専門性について考える 「社会福祉士の倫理綱領・行動規範」を声に出して一度読んでください。社会福祉士の倫理綱領・行動規範をふまえて、あなたが社会福祉士として大切にしたいことを800字以上にまとめてください。
・事前課題提出期日：平成30年8月17日(金) (期日厳守) ※事前課題の提出をもって集合研修1の受講を認める。		
生涯研修制度独自科目	集合研修1・2・3	開催日：平成30年9月1日(土) 【講義&演習】・社会福祉士会のあゆみ・日本社会福祉士会、山口県社会福祉士会の組織・生涯研修制度
ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	集合研修1	開催日：平成30年9月1日(土) 【講義&演習】・社会福祉士としての専門性について考える
権利擁護・法学系科目Ⅰ	事前課題1	①倫理綱領、行動規範の理解 あなたの日頃の実践を振り返り、「社会福祉士の行動規範」と照らし合わせ、2つの項目を取り上げ、あなたの実践を考察してください。(「社会福祉行動規範」1項目につき1,200字以上)
ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	事前課題2	②社会福祉に共通する専門性の理解 『基礎研修テキスト』上巻のP1～P25「社会福祉士に共通する専門性の理解」を読んで、なぜ社会福祉士にとって共通基盤が必要なのか、あなたの日頃の実践を振り返りながら、まとめてください。(1,200字以上)
	事前課題3	③所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ。 所属組織におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を職場で活躍している先輩社会福祉士から話を聞いて現状を踏まえて考察してください。そのうえで、自らの現状と課題及び組織における現状と課題について、まとめてください。(1,200字以上) ※この課題をまとめるにあたっては、職場の先輩社会福祉士等にソーシャルワークの機能や社会福祉士の役割を必ず聞く。話を聞く方は、社会福祉士会会員の方でなくても構いません。※現在所属先がないなどの理由で、所属先で話が聞けない場合は、事前課題4を3箇所にして提出してください。
	事前課題4	④所属組織以外のソーシャルワーク実践について学ぶ。 他事業所におけるソーシャルワーカーとしての社会福祉士の役割を、所属組織以外の施設や事業所(独立型社会福祉士事務所を含む)で活躍している先輩社会福祉士から話を聞き、所属組織以外の社会福祉士が抱えるソーシャルワーカーとしての現状と課題について考察し、まとめてください。(2箇所以上、各1,200字以上)
・事前課題提出期日：平成31年2月8日(金) (期日厳守) ※すべての事前課題の提出をもって集合研修2の受講を認める。		
ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	集合研修2	開催日：平成31年3月9日(土) 【講義&演習】・社会福祉に共通する専門性の理解
権利擁護・法学系科目Ⅰ	集合研修1・2	開催日：平成31年3月9日(土) 【講義&演習】・倫理綱領、行動規範の理解・社会福祉士の倫理綱領の現場適用

4. 修了基準

- ① 所定のプログラムを全て受講することで修了となります。
- ② 原則として、15分以上の遅刻・早退がある場合は欠席として扱います。
- ③ 遅刻・早退・欠席した科目は、次年度開催時に受講することで修了とします。

■平成30年度基礎研修Ⅱの概要・開催日

研修番号／開催日	科目	テーマ	研修内容	時間	研修方法
①5/19(土)		相談援助の視座と社会福祉援助の展開課程	・相談援助サービスの視座 ・ソーシャルワーカーの機能 ・社会福祉援助の展開過程	・講義：180分	・講義の前に『基礎研修Ⅱワークブック』を使用し、事前学習を受講者に課す。 ・『基礎研修テキスト 上巻』を使用して講義を行う。 ・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
①5/19(土)	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	実践のためのアプローチ	・エンパワメントアプローチとは ・アプローチによる実践の比較 ・危機介入アプローチの実際	・講義：180分	・講義の前に『基礎研修Ⅱワークブック』を使用し、事前学習を受講者に課す。 ・『基礎研修テキスト 上巻』を使用して講義を行う。 ・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
②6/2(土)		自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク	・社会福祉における生活のとらえ方 ・生活をとらえる視点 ・地域自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク	・講義：180分	・講義の前に『基礎研修Ⅱワークブック』を使用し、事前学習を受講者に課す。 ・『基礎研修テキスト 上巻』を使用して講義を行う。 ・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
③6/30(土)	ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ	実践事例演習Ⅰ	・理論を言語化する ・アセスメント、支援目標の設定と、支援計画案策定 ・チームアプローチと組織間ネットワーク ・ケア会議の進め方(モニタリング・評価・ネットワーク)	・演習：360分	・演習の前に『基礎研修Ⅱワークブック』で設定されている事前課題を受講者に課す。 ・『基礎研修Ⅰワークブック』を使用して演習を行う。
④7/21(土)		社会福祉における法Ⅰ	・社会福祉士実践と法理念(憲法25条及び13条、社会福祉法の理念など) ・憲法14条「法の下の平等」と格差問題 ・自己決定と自己責任の間 ・立法上の権利 ・契約上の権利 ・行政手続の法 ・権利の救済(行政訴訟、行政不服審査など)	・講義：180分	・『基礎研修テキスト 上巻』を使用して講義を行う。 ・各講師で準備する資料を使用してグループ討議を行う。
④7/21(土)	権利擁護・法学系科目Ⅰ	ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ	・権利擁護を支える理念(自己決定、エンパワメント、アカウンタビリティ、セルフアドボカシー) ・権利擁護の諸制度(成年後見制度・虐待対応)	・講義：180分	・『基礎研修テキスト 上巻』を使用して講義を行う。 ・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
⑤8/18(土)		社会福祉における法Ⅱ	・民法の構成 ・権利主体、客体と法律行為 ・成年後見 ・契約	・講義：180分	・『基礎研修テキスト 上巻』を使用して講義を行う。 ・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
⑤8/18(土)		ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ	・権利擁護実践事例1(独居高齢者の成年後見制度の活用事例) ・権利擁護実践事例2(障害者における消費者被害の回復)	・講義：180分	・『基礎研修テキスト 上巻』を使用して講義を行う。 ・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
⑥9/8(土)	人材育成系科目Ⅰ	スーパービジョンとは	・一般的スーパービジョン、社会福祉士会におけるスーパービジョン、社会福祉士会のスーパービジョンの研修体系と実施体制について概要を説明する。 またスーパーバイザーとして必要な心得を伝え、モチベーションを高める。	・講義：120分	・『基礎研修テキスト スーパービジョン』『基礎研修Ⅱワークブック』を使用して講義を行う。
		スーパービジョンのモデルセッションを見る	・日本社会福祉士会のスーパービジョンのイメージを持つため、モデルスーパービジョンのセッションを見る。	・講義：120分	・『基礎研修テキスト スーパービジョン』『基礎研修Ⅱワークブック』を使用して講義を行う。
		スーパーバイザー体験	・バイザーとしての基本 ・スーパービジョンの実際(スーパーバイザーとして) ・モデル事例を用いてスーパーバイザー役を行う。	演習：120分	・『基礎研修テキスト スーパービジョン』『基礎研修Ⅱワークブック』を使用して演習を行う。 ・演習当日に、体験シート、モデル事例を受講者に配付する。
⑦10/20(土)		社会資源の理解と社会資源開発	・社会資源とは、社会資源の連携、社会資源の開発 ・所属組織が所在する地域特性から考えられる住民生活の特徴について ・所属組織が所在する地域で今後必要と思われる社会資源について	・講義：180分	・講義の前に『基礎研修Ⅱワークブック』で設定されている事前課題を受講者に課す。 ・『基礎研修テキスト 上巻』を使用して講義を行う。 ・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
⑦10/20(土)		連携システムのあり方とネットワークの構築	・地域における連携システム ・ネットワークの構築 ・地域の連携システムとネットワークを構築のための工夫	・講義：180分	・『基礎研修テキスト 上巻』を使用して講義を行う。 ・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
⑧11/17(土)	地域開発・政策系科目Ⅰ	地域における福祉政策と福祉計画	・所属組織が所在する自治体の福祉計画について ・地域における自組織の役割について ・所属組織が所在する地域の住民福祉活動やボランティア活動の実態や課題 ・地域の福祉政策を知る手掛かりや活用方法について ・福祉行政の計画化、計画策定のプロセス、福祉計画の推進と住民参加 ・地域特性と福祉計画の関係について ・地域で展開されている住民活動の現状と課題について	・講義：180分	・『基礎研修Ⅱワークブック』で設定されている事前課題を受講者に課す。 ・『基礎研修テキスト 上巻』を使用して講義を行う。 ・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
⑧11/17(土)		社会福祉調査の方法と実際	・社会福祉調査とは、調査のプロセス、調査の方法 ・社会福祉調査を企画について ・所属組織が所在する地域での実際の調査について	・講義：180分	・講義の前に『基礎研修テキスト 上巻』を使用して講義を行う。 ・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。 ・講義終了時に、『基礎研修Ⅱワークブック』で設定されている科目修了レポートを受講者に課す。
⑨12/15(土)		実践研究の意義と方法	・実践研究とは何か ・実践研究が求められる理由 ・社会福祉における実践研究の定義 ・日本社会福祉士会の歩みにみる実践研究への道	・講義：180分	・『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
⑨12/15(土)	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	実践研究のための記録	・記録の目的 ・多様な記録の用途 ・実践研究を進めるうえでの実践記録の必要性 ・よい記録をとるための留意点	・講義：180分	・『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
⑩11/12(土)		実践評価の方法	・実践評価とは ・実践評価の種類 ・評価目的による分類 ・実践評価の方法	・講義：180分	・『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。
⑪2/23(土)	実践評価・実践研究系科目Ⅰ	実践研究発表の方法	・実践研究の具体的な方法 ・実践研究に基づく論文作成の留意点 ・実践研究論文の具体的な事例を提示し、論文の組み立て方や研究手法、倫理的配慮等について ・自分自身の実践事例のプレゼンテーション(発表→質問→相互評価)	・講義・演習：240分 ・プレゼンテーション120分	・『基礎研修Ⅱワークブック』で設定されている事前課題を受講者に課す。・『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。・『基礎研修Ⅱワークブック』を使用して演習、プレゼンテーションを行う。

合計時間数：
3,600分

平成30年度基礎研修Ⅱ 研修概要・開催日時・開催場所・修了基準

1. 開催日・研修方法と事前課題・講師の簡易一覧表

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
開催日	19 (土)	2 (土)	30 (土)	21 (土)	18 (土)	8 (土)	20 (土)	17 (土)	15 (土)	12 (土)	23 (土)
研修番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
研修方法	集合研修	集合研修	集合研修	集合研修	集合研修	集合研修	集合研修	集合研修	集合研修	集合研修	集合研修
事前課題			事前課題				事前課題	事前課題			事前課題
修了レポート											レポート
講師	横山順一	横山順一	横山順一	未廣洋子	未廣洋子	伊藤孝司 橘康彦 上野綾乃	未廣洋子	未廣洋子	梅木幹司	梅木幹司	梅木幹司

2. 研修番号の受講内容は下記を参照

研修番号	研修方法と時間数	テーマ	科目
①	講義：180分×2	相談援助の視座と展開過程，実践のためのアプローチ	ソーシャルワーク理論系科目
②	講義：180分×2	自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク	ソーシャルワーク理論系科目
③	演習：360分	実践事例演習	ソーシャルワーク理論系科目
④	講義：180分×2	社会福祉における法Ⅰ，ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅰ	権利擁護・法学系科目
⑤	講義：180分×2	社会福祉における法Ⅱ，ソーシャルワークと権利擁護の視点Ⅱ	権利擁護・法学系科目
⑥	講義：120分×2+演習120分	スーパービジョン研修	人材育成系科目
⑦	講義：180分×2	社会資源の理解と社会資源開発，連携システムのあり方とネットワークの構築	地域開発・政策系科目
⑧	講義：180分×2	地域における福祉政策と福祉計画，社会福祉調査の方法と実際	地域開発・政策系科目
⑨	講義：180分×2	実践研究の意義と方法，実践研究のための記録	実践評価・実践研究系科目
⑩	講義：180分	実践評価の方法	実践評価・実践研究系科目
⑪	講義、演習：240分+プレゼンテーション120分	実践研究発表の方法	実践評価・実践研究系科目

3. 開催場所 山口県身体障害者福祉センター(予定) 5. 修了基準

4. 時間割

時間	内容
9:00～	受付
9:40～11:10	講義・討議・演習等
11:10～11:25	休憩
11:25～12:55	講義・討議・演習等
12:55～13:40	休憩
13:40～15:10	講義・討議・演習等
15:10～15:25	休憩
15:25～16:55	講義・討議・演習等

- ①所定のプログラムを全て受講することで修了となります。
 ②原則として、15分以上の遅刻・早退がある場合は欠席として扱います。
 ③遅刻・早退・欠席した科目は、研修期間の延長を認めます。
 ④基礎研修Ⅱで修了評価を行う科目は、修了要件・評価基準を満たすことで修了となります。評価基準に達しない場合は、各科目で設定している課題等を行い、基準を満たすことで修了することができます。

6. 留意点

- ・③研修の受講要件は、①②研修ソーシャルワーク理論系科目の講義の修了と③研修の事前課題を提出していること。
- ・⑩研修の受講要件は、⑨⑩研修の実践評価・実践研究系科目の講義を修了していること。
- ・③⑦⑧⑩研修の受講要件は、事前課題を提出していること。

※科目によって、多少所要時間が異なります。

■基礎研修Ⅲの概要

群	研修番号/開催日	科目	テーマ	研修内容	研修時間	研修方法
第1群	①5/19(土)	実践評価・実践研究 系科目Ⅰ	・対人援助と事例研究	・対人援助の本質と事例研究の定義	講義:90分	・『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。
			・事例研究の基本枠組み	・事例研究の枠組みと5つの構成要素	講義:90分	・『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。
			・事例研究の方法としてのケースカンファレンス	・事例研究の方法としてのケースカンファレンスについて一有意義な展開のための40のポイント	講義:180分	・『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。
	②6/2(土)	実践評価・実践研究 系科目Ⅰ	・事例研究のための事例のまとめ方	・事例のまとめ方(事例研究用フェイスシート、経過記録、全体の所感・論点・感想) ・中間課題	講義:60分	・『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。 ・講義終了時に、『基礎研修Ⅲワークブック』で設定されている中間課題を受講者に課す。
	②6/2(土)		ソーシャルワーク理論 系科目Ⅰ	・実践事例演習Ⅱ	・自身の実践の計画、振り返り、改善 ・報告発表 ・科目修了レポート	報告会:210分
	③6/30(土)	実践評価・実践研究 系科目Ⅰ	模擬事例検討会	・事例検討会を受講者自ら企画、運営し、自身の実践についての評価・検証を行う ・科目修了レポート	講義:60分 演習:210分	・『基礎研修Ⅲワークブック』を使用して講義及び演習を行う。 ・演習終了時に『基礎研修Ⅲワークブック』で設定されている科目修了レポートを受講者に課す。
第2群	④7/21(土)	権利擁護・法学系科目Ⅰ	意思決定の支援	・事前課題		・講義の前に『基礎研修Ⅲワークブック』で設定されている事前課題を受講者に課す。
				・意思決定の支援(講義) ・意思決定の支援演習 ・権利侵害の防止と対応についての演習 ・科目修了レポート	講義:90分 演習:270分	・『基礎研修テキスト』を使用して講義を行う。 ・『基礎研修Ⅲワークブック』を使用して演習を行う。 ・演習終了時に『基礎研修Ⅲワークブック』で設定されている科目修了レポートを受講者に課す。
第3群	⑤8/18(土)	地域開発・政策系科目Ⅰ	地域における福祉活動	・事前課題		・講義の前に『基礎研修Ⅲワークブック』で設定されている事前課題を受講者に課す。
			・地域における福祉計画 ・社会福祉調査の方法 ・当事者の声を聴く	講義:90分 事例:60分 演習:210分	・『基礎研修テキスト 上巻』を使用して講義を行う。 ・『基礎研修Ⅲワークブック』を使用して、事例の説明、演習を行う。	
	⑥10/20(土)	地域における福祉活動の実践	・自らの調査内容、結果の確認 ・ニーズ解決に向けた具体的計画の提案と見直し ・再考した結果を踏まえ、計画を具体化するための具体策や今後の方向性についてまとめる ・地域課題の解決に向けた自組織に求められている課題と今後の方向性	演習:360分 事後課題 自宅学習	演習終了時に『基礎研修Ⅲワークブック』で設定されている科目修了レポートを受講者に課す。 ・演習終了時に『基礎研修Ⅲワークブック』で設定されている中間課題を受講者に課す。	
第4群	⑦11/17(土)	サービス管理・経営系科目Ⅰ	・社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営	・事前課題		・講義の前に『基礎研修Ⅲワークブック』で設定されている事前学習を受講者に課す。
			・いま、なぜ福祉に“経営”なのか ・福祉経営の変遷 ・社会福祉士が経営をどうとらえる視点 ・組織のミッションとコンプライアンス ・サービス管理 ・リスクマネジメント ・公益法人としての法人経営	講義:180分	・『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。 ・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。	
	⑧12/15(土)	サービス管理・経営系科目Ⅰ	・福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント	・事前課題		・講義の前に『基礎研修Ⅲワークブック』で設定されている事前学習を受講者に課す。
			・社会福祉実践の評価 ・サービス評価が必要とされる背景 ・サービス評価の視点と枠組み(事業者評価・利用者評価・第三者評価) ・サービス評価の実践	講義:180分	・『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。 ・講義要綱で示している内容に従いグループ討議を行う。	
⑨1/12(土)	事例研究(苦情、リスク、サービス評価)	・リスクマネジメントと苦情解決システム	・苦情のとらえ方 ・苦情解決システム(苦情解決の仕組みの意義、苦情解決における役割/しくみ) ・苦情解決の意義	講義:180分	・『基礎研修テキスト 下巻』を使用して講義を行う。 ・各講師で準備する資料を使用してグループ討議を行う。	
・所属組織のサービス評価の仕組み、管理方法、評価方法について ・所属組織のリスクマネジメントの仕組み、苦情解決システムについて		演習:300分	・『基礎研修Ⅲワークブック』を使用して演習を行う。			
第5群	⑩2/23(土)	人材育成系科目Ⅰ	スーパービジョンのモデルセッション	・事前課題		・講義の前に『基礎研修Ⅲワークブック』で設定されている事前課題を受講者に課す。
			スーパービジョンのモデルを身ながら、スーパービジョンのプロセスと視点について再確認をする ・スーパービジョンの基本的考え方 ・スーパービジョンのプロセス	講義:120分 演習:120分	・『基礎研修テキスト スーパービジョン』を使用して講義を行う。 ・『基礎研修Ⅲワークブック』を使用して演習を行う。	
	⑪3/9(土)	・新人教育プログラム	自己を振り返りながら、所属組織におけるソーシャルワーク業務の内容及び社会福祉士の役割について系統的に説明し、後進育成プログラムについて企画・運営プログラムを立案する ・自己の職場実践について説明 ・自己チェックの実施(自己の振り返り) ・研修プログラムの立案 ・修了レポート	講義:60分 演習:240分	・『基礎研修テキスト スーパービジョン』を使用して講義を行う。 ・『基礎研修Ⅲワークブック』を使用して演習を行う。 ・演習終了時に『基礎研修Ⅲワークブック』で設定されている科目修了レポートを受講者に課す。	

合計時間数:3,390分

平成30年度基礎研修Ⅲ 研修概要・開催日時・開催場所・修了基準

1. 開催日・研修方法と事前課題・講師の簡易一覧表

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日	19 (土)	2 (土)	30 (土)	21 (土)	18 (土)		20 (土)	17 (土)	15 (土)	12 (土)	23 (土)	9 (土)
研修番号	①	②	③	④	⑤		⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
事前課題	集合	事前課題 集合	中間課題 集合	事前課題 集合	事前課題 集合		中間課題 集合	事前学習 集合	事前学習 集合	事前課題 集合	事前課題 集合	事前課題 集合
研修方法	受講	受付	レポート	レポート	レポート		レポート			レポート		レポート
修了レポート												
講師	梅木幹司	内田充範	梅木幹司	安光洋平	内田充範		内田充範	安光洋平	安光洋平	安光洋平	伊藤孝司 橘康彦 上野綾乃	伊藤孝司

2. 研修番号の受講内容及び時間

研修番号	時間	テーマ	科目
①	9:30~11:00 (1.5時間) 11:15~12:45 (1.5時間)	・対人援助と事例研究 ・事例研究の基本枠組み	実践評価・実践研究系科目Ⅰ
②	9:30~16:30 (3時間) 13:30~11:00 (1.5時間)	・事例研究の方法としてのケースカンファレンス ・事例研究のための事例のまとめ方 ・実践事例演習Ⅱ	実践評価・実践研究系科目Ⅰ ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ
③	9:30~11:00 (1.5時間) 11:45~15:15 (3.5時間)	・模擬事例検討会	実践評価・実践研究系科目Ⅰ
④	9:30~11:00 (1.5時間) 11:15~12:25 (1.2時間) 13:10~16:30 (3.4時間)	・意思決定の支援	権利擁護・法学系科目Ⅰ
⑤	9:30~11:00 (1.5時間) 11:15~12:15 (1時間) 13:00~16:30 (3.5時間)	・地域における福祉活動	地域開発・政策系科目Ⅰ
⑥	9:30~16:30 (6時間)	・地域の課題の解決に向けた具体策について ・社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、会議運営	地域開発・政策系科目Ⅰ
⑦	9:30~11:00 (1.5時間) 11:15~12:45 (1.5時間) 13:30~15:00 (1.5時間) 15:15~16:45 (1.5時間)	・福祉サービスにおける質の評価とサービスマネジメント	サービス管理・経営系科目
⑧	9:30~11:00 (1.5時間) 11:15~12:45 (1.5時間)	・リスクマネジメントと苦情解決システム	サービス管理・経営系科目
⑨	9:30~16:00 (5時間)	・事例研究(苦情、リスク、サービス評価)	サービス管理・経営系科目
⑩	9:30~11:30 (2時間) 12:15~14:15 (2時間)	・スーパービジョンのモデルセッション	人材育成系科目Ⅰ
⑪	9:30~16:00 (5時間)	・新人育成プログラム	人材育成系科目Ⅰ

3. 開催場所 山口県身体障害者福祉センター ※開催場所を変更する場合があります。

4. 修了基準

- ①所定のプログラムを全て受講することで修了となります。
- ②原則として、15分以上の遅刻・早退がある場合は欠席として扱います。
- ③遅刻・早退・欠席した科目は、研修期間の延長を認めず。
- ④基礎研修Ⅲで修了評価を行う科目は、修了要件・評価基準を満たすことで修了となります。評価基準に達しない場合は、各科目で設定している課題等を行い、基準を満たすことで修了することができます。

5. 留意点

- ・②③④⑤⑥⑨⑩⑪研修の受講要件は、事前課題・中間課題を提出していること。

平成30年度基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 参加申込書

申し込み年月日：平成 年 月 日

会員番号		
ふりがな 氏 名		
勤務先名		
連絡先	住所 〒 _____	
	TEL :	携帯電話 :
	(フリカナ) MAIL :	
受講内容 及び 受講料 (該当する箇所に ✓してください)	<input type="checkbox"/> 基礎研修Ⅰ → <input type="checkbox"/> 新受講者の方 (受講料 15,000円) → <input type="checkbox"/> 平成24年度受講費納入済の方 (受講料 11,000円) → <input type="checkbox"/> 平成25年度受講費納入済の方 (受講料 11,000円) → <input type="checkbox"/> 平成26年度受講費納入済の方 (受講料 6,000円) → <input type="checkbox"/> 平成27年度以降受講費納入済の方 (受講料 1,000円) <input type="checkbox"/> 基礎研修Ⅱ → <input type="checkbox"/> 新受講者の方 (受講料 35,000円) → <input type="checkbox"/> 平成25年度受講費納入済の方 (受講料 24,000円) → <input type="checkbox"/> 平成26年度受講費納入済の方 (受講料 16,000円) → <input type="checkbox"/> 平成27年度以降受講費納入済の方 (受講料 11,000円) <input type="checkbox"/> 基礎研修Ⅲ → <input type="checkbox"/> 新受講者の方 (受講料 50,000円) → <input type="checkbox"/> 平成26年度以降受講費納入済の方 (受講料 1,000円) <input type="checkbox"/> 非会員の方 → <input type="checkbox"/> 基礎研修Ⅰ (受講料 30,000円) → <input type="checkbox"/> 基礎研修Ⅱ (受講料 70,000円) → <input type="checkbox"/> 基礎研修Ⅲ (受講料 100,000円)	

※一旦お申込みいただきました内容に変更等が生じた場合は、必ず書面にてご連絡ください。

※お預かりした個人情報、本目的以外には使用いたしません。

【生涯研修制度管理システム】

研修の修了履歴については、インターネットを利用した生涯研修制度管理システムで管理を行っています。この管理システムでは、いつでもご自身の研修修了履歴を確認することができます。

【本会ホームページ→生涯研修制度ページ→生涯研修制度管理システムについて】

申請日 年 月 日

一般社団法人山口県社会福祉士会
会長 白石義彦様

基礎研修期間延長願

私は、()年度 基礎研修Ⅰ
 基礎研修Ⅱ
 基礎研修Ⅲ

(該当する箇所に✓してください)

において、下記のプログラムを修了できませんでしたので、研修期間の延長を申請します。

日本社会福祉士会が発行した会員番号 (県士会に所属していない場合は 社会福祉士登録番号)		受講番号	
氏名			
連絡先	(〒)		
	TEL		FAX

プログラム名
(例) 中間課題「他領域のソーシャルワーク実践について学ぶ」